

課題改善カリキュラム【 体育科 】練馬区立大泉第二中学校・大泉第二小学校・大泉南小学校

課題		研究テーマ		
運動への取り組み方の二極化による能力の個人差		発達段階を意識した一人一人の課題解決の方法		
学習期	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	カリキュラム改善の視点	
中学校	3年	一人一人の運動に対する意欲や能力を上げていくために・・・ ○各種目の要領がきちんと理解できる説明を工夫する。 ○反復練習が可能な時間を確保する。 ○上達度合いを確認するための学習カードを作成する。 ○互いにアドバイスし合うよう促す。	○課題解決のための具体的な練習方法を考え工夫する。 ○全員の技能が向上するための方策を考え工夫する。	
	2年		○課題解決のための具体的な練習方法を考え、工夫する。	
	1年		○課題解決のための具体的な練習方法を考え工夫する。 ○全員の技能が向上するための方策を考え工夫する。	
小学校	6年	○児童が個人の課題に応じた活動を工夫できるための「場の設定」をする。 ○互いの協力を促すための声かけをする。 ○個人の課題と成果が見えるための「学習カード」を作成する。 ○小グループで児童同士が動きを見合うために運動のポイント伝える。	○自分に合った課題をもち、練習方法や活動を工夫する。	○中学校での課題を元に、感覚作りの運動を選定し、補助運動として各単元に取り入れていく。
	5年			
	4年	○児童が個人の課題に応じた活動を選ぶために「場の設定」をする。 ○個人の課題と成果が見えるための「学習カード」を作成する。 ○小グループで児童同士が動きを見合うために良い動きを伝える。	○動きのポイントを知り、自分に合った課題や練習方法を選ぶ。	
	3年		○活動を工夫して楽しく運動し、基本的な動きを身につけ、体力を養うことができる。 ○友達と協力し、きまりを守って、課題に向かって最後まで運動に取り組むことができる。	
	2年		○意欲的に取り組むために「単元テーマの設定」をする。 ○やってみたい、できそうと思えるための「場の設定」をする。 ○動きの振り返りができるための「学習カード」を作成する。 ○誰とでも仲良くするために小グループで児童同士が動きを見合うようにする。	
1年	○運動を楽しみ、基本的な動きができる。 ○だれとでも仲よくし、意欲的に運動することができる。	○様々な場を設定し、やってみたいと思う場を選ぶ。		